

石狩翔陽で夢を 叶えま 翔陽!

URL <http://www.ishikarishoyo.hokkaido-c.ed.jp>
E-mail ishikarishoyo-z0@hokkaido-c.ed.jp

第 2 号

北海道石狩翔陽高等学校

総合学科情報誌

〒061-3248

石狩市花川東128-31

TEL 0133-74-5771

FAX 0133-74-8741



→学校 HP はこちらの
QRコードからご覧
いただけます。

有志ボランティア

～今年のインターハイをサポート～

令和5年度 北海道で高校総体が開催され、石狩市はソフトボールの会場地区になります。約2週間の開催期間、本校から生徒・教員 総勢102名が、放送・受付・接客・グラウンド整備など様々な場面で大会運営に貢献します。ご声援いただければ幸いです。

総合学科 4系列紹介

石狩翔陽高校では4つの系列、必修科目を含め100以上ある科目から進路希望や興味・関心に応じて3年間で自身が学ぶ科目を選択します。ここで4つの系列について簡単にご紹介します。

系列	主な科目
人文・自然科学 系列	小論文研究・日本史探究・政治経済・生物・化学
	数学Ⅱ・Ⅲ・英語コミュニケーションⅡ・Ⅲなど
ビジネス・情報 系列	簿記・原価計算・財務会計・電卓応用計算
	情報処理・プログラミング言語基礎など
芸術・スポーツ 系列	器楽・音楽リズム・絵画・素描・創作書道
	生活の書・生涯スポーツ・エアロビクスなど
生活・福祉 系列	生活教養・保育基礎・フードデザイン・地域と食
	介護実践・基礎医学教養・福祉レクリエーション・手話言語など

総合学科である本校の特色は、普通科目(国・数・社・理・英)の選択科目ももちろんありますが、専門科目である体育・芸術・家庭・福祉・商業・情報の科目が多く設置されていることにあります。上の表でもわかる通り、4つの系列のうち3つが専門科目の系列です。またコース制ではないので、系列をまたいだ選択も可能です。今後新入生には科目選択のガイダンスを開催し、「科目選択の手引き」という冊子を使って選択を考えてもらうことになります。

3年次生 課題研究始まる

総合学科の集大成である3年次生の課題研究の授業が始まりました。第1体育館でのオリエンテーションに始まり、ゼミ形式でのクラス分けの後、課題研究の内容について担当の先生と個人面談を行い、研究をどのように進めていくのか、課題の内容は妥当なのかについて相談しました。12月22日に実施予定の「課題研究発表会」へ向け、それぞれのゼミ内で発表し、それに

対する質問や疑問を出してもらい、よりよい研究成果を得るよう活動を続けていきます。



令和5年度 中学校別入学者数

学 校 名	人数	学 校 名	人数	学 校 名	人数
あいの里東	5	太 平	18	発 寒	1
稲 積	1	稲 陵	1	石 狩	7
稲 穂	1	新 陵	1	樽 川	27
栄	7	星 置	1	花 川	26
栄 町	1	屯 田 北	27	花 川 北	15
上 篠 路	1	屯 田 中 央	21	花 川 南	16
光 陽	12	札 苗	1	浜 益	1
篠 路	11	北 栄	1	厚 田 学 園	1
篠 路 西	23	元 町	1	とうべつ学園	3
新 川	1	北 陽	1	西 当 別	1
新 川 西	2	前 田	11	大 麻 東	1
新 琴 似	9	前 田 北	1	明 野	1
新 琴 似 北	15	八 軒	2		

学校説明会 今年度の予定

〈中学校教員向け学校説明会〉

6月7日(水) 13:00～受付

〈生徒・保護者向け学校説明会〉

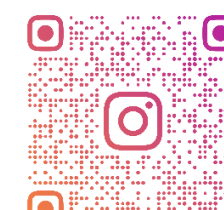
9月9日(土) 第1回学校説明会

10月14日(土) 第2回学校説明会

本校の特色について詳しく説明いたします。総合学科とは、どのような学校か、翔陽ではどのような学びができるのか、是非ご来校いただき、進路の参考にしていただければと思います。



公式 YouTube
チャンネル



ISHIKARI_SHOYO_HIGHSCHOOL
公式 instagram

対面式・部活動紹介

4月12日(水) 対面式が行われ、生徒会長の歓迎の言葉に続き、新入生代表挨拶が行われ、生徒会の一員としての誓いを立てました。部活動・同好会の紹介では、普段の練習メニューを紹介だけでなく、野球部・サッカー部合同で歓迎のパフォーマンスをするなど、どれも見応えがあり、新入生には笑顔があふれていました。多く方の入部を期待しています。



高体連地区壮行会

5月9日(火)6校時 高体連地区大会に出場する部活動を激励する地区壮行会が実施されました。

全校生徒が見守る中、堂々と胸を張って入場し、勝利への熱い思いを語ってくれた11の部活動の選手たち。副校長、体育委員長のメッセージに続き、選手たちの勇姿をまとめた生徒会ビデオ、懸命にエールを送った応援団、いつものように華麗かつキレのあるダンス部のパフォーマンスなどが披露され、激励の思いが選手たちの背中を力強く押したことと思います。

